

森林環境税を活用した取り組みを紹介する情報誌

Komorebi

木もれ日

2024.3



目次

- ◆ 森林の役割
- ◆ 森林環境税を活用した取り組みのご紹介
- ◆ 木材を使おう
- ◆ 森林環境税の仕組み

You Tubeチャンネル
「やまなしチャンネル」で
「森呼吸」が聴けます



県ホームページ
やまなしの森づくり
森林環境税のことがわかる



山梨県 林政部 森林政策課

山梨県は面積の78%が森林

～森林には様々な機能があり、森林を守り、
次の世代に引き継いでいくことが重要～



- 森林は、洪水や土砂災害から県土を保全して県民の生命や財産を守るとともに、二酸化炭素(CO₂)を吸収して地球温暖化を防止するなど、私たちの暮らしと切り離すことができない多くの大切な機能を持っており、この機能のことを「森林の公益的機能」と言います。
- このような森林の持つ公益的機能の恩恵は、全ての県民が享受しており、私たち県民の暮らしを支えています。
- 山梨の森林は、何ものにも代えがたい貴重な財産であり、近年、大型台風や短時間豪雨が増加傾向にある中、土砂災害の未然防止や地球温暖化防止などの観点から、将来にわたり良好な状態に維持する必要があります。

森林が持つ多様な機能

生活環境や生物多様性を守る働き

- 多様な動植物の生育・生息の場を提供

山くずれや洪水などを防止する働き

- 木の根が土砂や岩石等を固定して、土砂の崩壊を防止

豊かな水をたくわえ、供給する働き

- 降雨を地下に蓄え、少しずつ流すことによる洪水の緩和や水質の浄化

地球温暖化を防止する働き

- 二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵することにより、地球温暖化を防止

自然に親しみ、自然の大切さを学ぶ場としての働き

- 景観の保全や教育・芸術の場を提供
- 健康の維持・増進やレクリエーション活動の場を提供

木材などを生産する働き

- 木材、山菜、きのこ等の林産物を生産

森林の公益的機能は、一部の金額換算できるものだけでも本県における評価額は、年間9,224億円にも上ります。

① 二酸化炭素吸収	216億円
② 表面侵食防止	4,360億円
③ 表面崩壊防止	1,095億円
④ 洪水緩和	693億円
⑤ 水質源貯留	1,153億円
⑥ 水質浄化	1,707億円



※日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的機能の評価について」及び同関連付属資料(平成13年11月)と同様の手法により、森林の公益的機能のうち、物理的な機能を中心に貨幣評価が可能な一部の機能について評価したもの

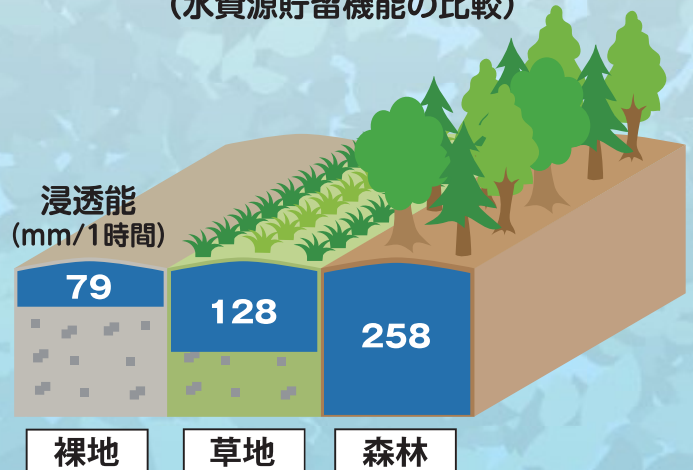
● 森林の公益的機能の例

森林の土砂流出防止機能 (流出土砂量の比較)



※資料:丸山岩三「森林水文」実践林業大学(1970)

森林の水源涵養機能 (水資源貯留機能の比較)



※資料:村井宏・岩崎勇作「林地の水及び土壌保全機能に関する研究」(1975)

森林環境税を活用した取組について

- 森林の持つ公益的機能の発揮のためには、間伐や主伐後の再造林といった森林整備により、健全な森林を育てることが必要です。
- こうした取り組みは、森林所有者や林業関係者など一部の人の自助努力のみに委ねるのではなく、県民全体で行っていくことが重要です。
- こうしたことから県では、県民全体で健全な森林を守り育て、次の世代に引き継ぐため、平成24年4月から森林環境税を導入し、「多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり」、「木材・木質バイオマスの利用促進」、「社会全体で支える仕組み」の3つの基本施策を掲げて、荒廃森林再生事業を中心とする様々な事業を展開しています。

I 多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり

① 荒廃森林再生事業

荒廃した民有林の人工林を針葉樹と広葉樹の混じり合った森林に誘導するための間伐を行います。間伐によって、森林内の樹木や低木、地表の植物の生育状況が良くなることで、水を蓄える、土砂崩れを防ぐといった森林の持つ機能が高まります。



② 里山再生事業

長期間放置され、ヤブ化した里山林において、不用木や竹を除去することにより、明るく開放的な里山林に再生します。里山林の再生により、周辺地域の景観が改善され、林内の見通しが良くなり、野生動物が人々の生活域に侵入することを防ぎます。



③ 広葉樹の森づくり推進事業

伐採後に森林の状態に回復していない林地に広葉樹を植栽します。植栽した広葉樹が成長することで、森林の持つ機能が高まります。



II 木材・木質バイオマスの利用促進

未利用材活用促進事業（④ 木材利用）

脱炭素社会の実現に向け、林地内に残されている未利用材（伐採時などに発生する末木枝条等）の運搬経費を助成し、バイオマス資源としての利用を促進します。



● 木材を使うことは、健全な森林づくりにつながります

- 木材を使うことは、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用の一部です。
- 本県では、戦後や高度成長期に植えられた人工林の多くが木材として利用可能な時期を迎えており、森林の持つ多くの機能を発揮させるためにも、間伐など森林整備の着実な実施に加えて、木材を使って森を育てることは大切なことなのです。



● 花粉症対策にも役に立つ

- スギやヒノキを伐採して、花粉の少ない苗木や他樹種に植替えることにより花粉の少ない森林への転換が進みます。
- やまなしの木を使うことが、花粉症対策にもつながります。

間伐の重要性

間伐

樹木の
成長促進

下層植生
の繁茂

- 風雪害や病虫害に強い健全な森林に
- 森林吸収量の確保・強化
- 表土流出の防止
- 生物多様性の保全



間伐が遅れた人工林
(イメージ)

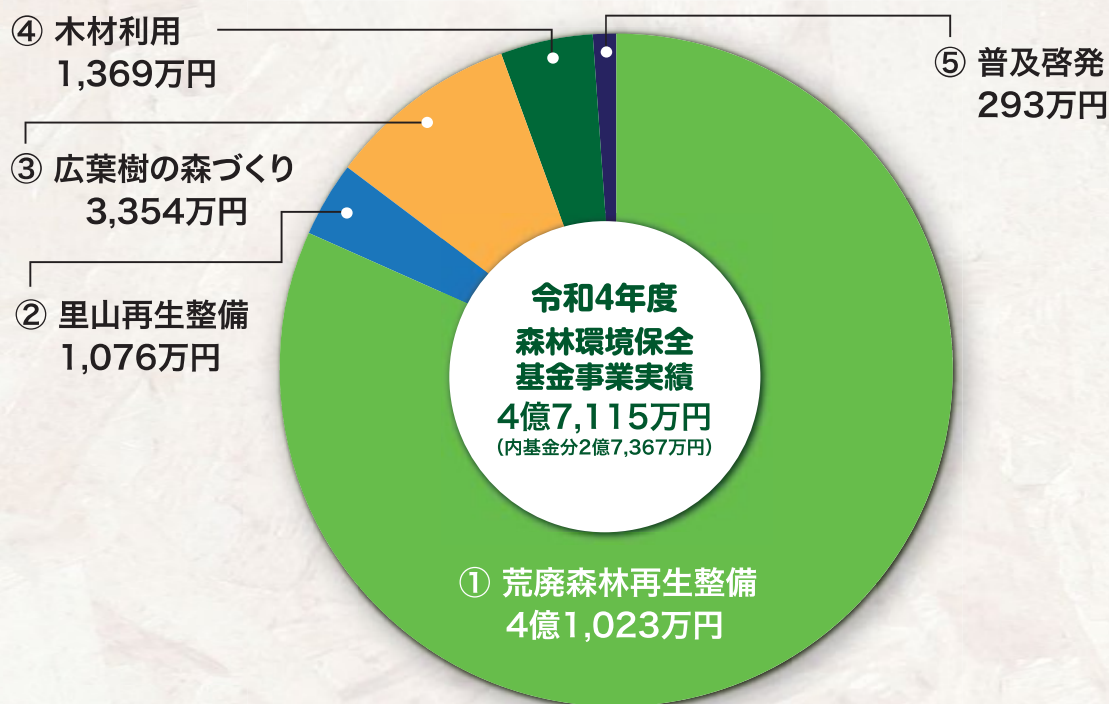


適切に管理された人工林
(イメージ)

あなたの山も整備できます

森林環境税を活用した事業(※)では、所有者の負担なく整備が行えます。「所有している森林をどうしたらいいのかわからない」というときなどは、お近くの県林務環境事務所にご相談ください。

※所有者・事業者・県の3者による協定の締結などが必要です。



Ⅲ 社会全体で支える仕組み

県民参加の森林づくり推進事業 (⑤ 普及啓発)

森林整備現場見学会の開催や、情報誌を発行し、税がどのように利用されているか、県民の皆様への周知を図ります。



地球温暖化対策にも貢献

- 森林は、光合成により大気中の二酸化炭素(CO₂)を吸収して成長し、幹や枝などの形で多量の炭素を蓄えています。
- このため、木材を住宅や家具等に利用することは、木材中の炭素を長期間にわたって貯蔵することにつながります(炭素貯蔵効果)。
- また、木材は、鉄などの資材に比べて、製造や加工に要するエネルギーが少なく、製造・加工時の二酸化炭素の排出量が抑制されることとなります(省エネ効果)。
- さらに、木材は再生産可能な資源であり、エネルギー源として燃やしても、再び森林が成長する過程で二酸化炭素が吸収されるという「カーボンニュートラル」な特性を有しており、化石燃料の使用を抑制することができます(化石燃料代替効果)。

吸収源・貯蔵庫としての森林・木材

▶ 森林はCO₂を吸収

- ・ 樹木は空気中のCO₂を吸収して成長



▶ 木材は炭素を貯蔵

- ・ 木材製品として利用すれば長期間炭素を貯蔵

排出削減に寄与する木材・木質バイオマス

▶ 木材は省エネ資材

- ・ 木材は鉄等の他資材より製造時のエネルギー消費が少ない



▶ 木質バイオマスは化石燃料等を代替

- ・ マテリアル利用により化石資源由来製品(プラスチック)等を代替
- ・ エネルギー利用(発電、熱利用)により化石燃料を代替



木材も地産地消

- 地域で育った木材の活用は林業の振興や森林の保全など地域のSDGsの達成に貢献します。



モックくん

Since 1991

山梨県産材普及
トレードキャラクター



森林環境税

県民税均等割額に次の額を上乗せ（超過課税）しています。

個人

年額 500円

- 県内に住所がある方
- 県内に事務所、事業所または家屋敷を持っている方

法人

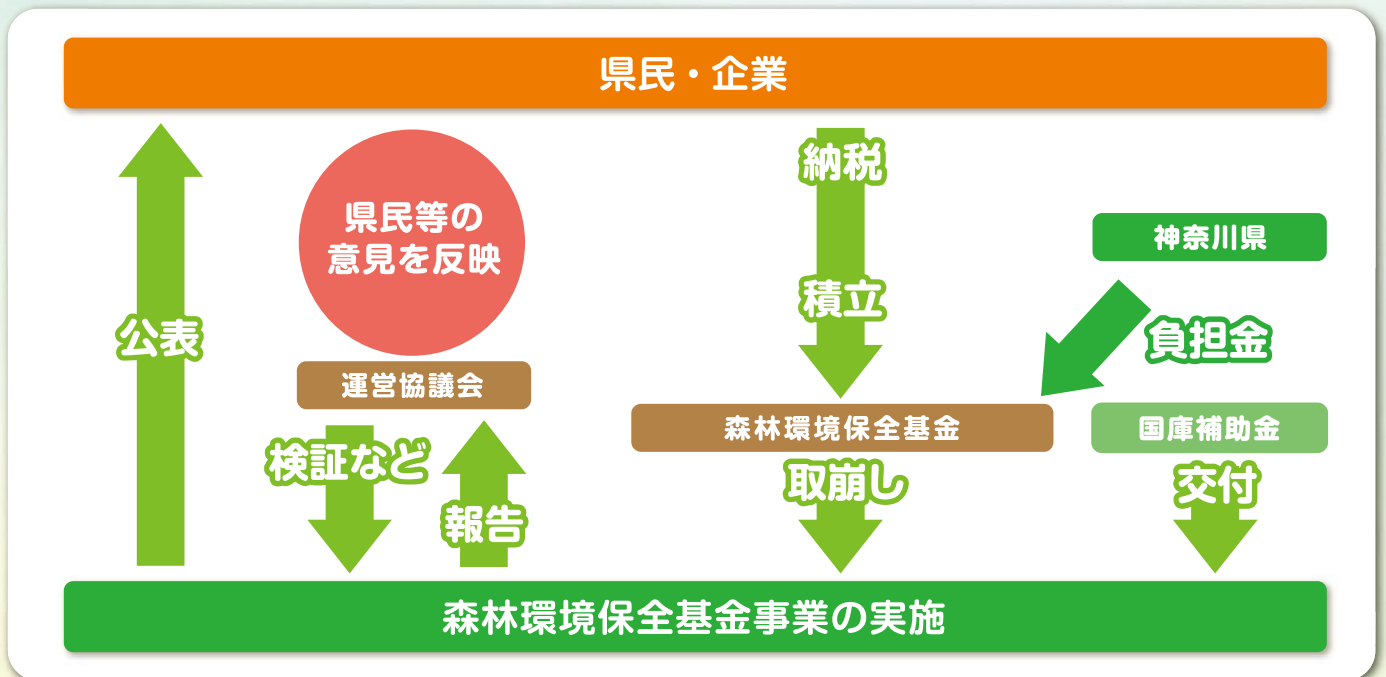
均等割額の5%

- 県内に事務所、事業所、寮等をもっている法人等



森林環境税の仕組み

森林環境税による事業は下図の流れで実施しています。



- 個人の方については個人県民税として、法人等については法人県民税として徴収します。
- 森林環境税による税収は、森林環境保全基金へ積み立て、使い道の透明性を確保します。
- 運営協議会を設置し、事業の検証などを行い、県民の皆様の意見を反映する仕組みとしています。



お問い合わせ

事業の内容などについて

山梨県林政部森林政策課…………… 055-223-1642
 中北林務環境事務所…………… 0551-23-3089
 峡東林務環境事務所…………… 0553-20-2722

峡南林務環境事務所…………… 055-240-4168
 富士・東部林務環境事務所…………… 0554-45-7813

税の仕組みについて

山梨県総務部税務課…………… 055-223-1386

県税 やまなし森づくり

検索



この印刷紙には、山梨の森林認証材が活用されています。
 森林環境保護・水質保全等の支援に役立てられます。

